



アイテム しごとと探検隊

28th

アイテムしごと探検隊は「しごとの素晴らしさを伝えたい」という
私たちの思いから始まりました。
実際の職場に足を運び、そこで働く人の話を聞くことを通して、
しごとの大切さ、素晴らしさに出会ったり、
発見できることを願っています。

今回の探検先 **株式会社アイテム**

●隊員紹介(五十音順)●

阿波根くん(6年生) 上田さん(5年生) 大野さん(6年生) 木村くん(5年生)
園田さん(5年生) 中村さん(5年生) 西口さん(5年生) 林さん(5年生) 林くん(6年生)
本田さん(5年生) 水谷さん(5年生) 山口さん(5年生) 山下くん(5年生)



※「アイテム 人と仕事研究所」では、人材育成のためのビジネスマナースクールや就活支援セミナーなどを開催しています。

今回の探検先は… 株式会社アイテム

関東・東海・近畿・中国・九州地域での求人広告（本誌ジョブアイテムをはじめ、新聞折込・求人サイト）の発行・運営を中心に、人材に関わるサービスをグループで展開。
2007年より小学生を対象としてはじまった「アイテムしごと探検隊」では、参加してくれた子どもたちが延べ450名をこえ、様々な企業を訪問してきました。
今回は、求人広告の仕事を探検しに、13名の子どもたちが大阪市西区にある大阪支社に訪れました。

●探検実施日：2013年8月3日(土)

👍 求人広告の役割って何だろう？
8月3日、13名の子もたちが探検に訪れたのは、大阪市西区にあるアイテム大阪支社。広報担当の望月さんが子どもたちに質問する。



「日本の人口約1億2800万人を1000人として考えた場合、働く人は何人になると思いますか？」
約半数の463人であることを告げると、働く人の多さに驚く子どもたち。たくさんの方が、求人広告をはじめ何かしらの方法で仕事を見つけていることを知る。



*子どもたちが考えた求人広告



👍 名刺はその人の「分身」。
「気持ちよく仕事をするために、社会には様々なマナーがあります。名刺交換もその一つ。何のためにするかかわりますか？」と、アイテム人と仕事研究所の松嶋講師が問いかける。「身分を示すため」「自己紹介のため」などの意見が出る。「名刺は会社名と名前を書いたその人の「分身」です。大切に扱きましょう」



自分の名前が刷られた名刺を受け取り、誇らしげな子どもたち。名刺交換のマナーを学び、まずはチームメイトと交換する。最初は緊張していたが、最後は大人も混じって堂々と交換し合った。

求人広告ができるまでを 子どもたちが探検。

「アイテムという会社は、仕事を探している人と、働く人を求める会社を、つなぐ役割をしています」



👍 求人広告づくりで大切なこと。
次に、大阪営業所の松本さんに営業の仕事について教わった。

「お客さまを訪問し、会社や業務内容について詳しく伺います。また、初めて仕事をする人への指導方法などもしっかりお聞きします」
「いい人が採用できた」とお客さまに喜んでもらったときに一番うれしいと笑顔で話す。
また、制作担当の岩永さんからは求人広告づくりのポイントを教わる。



「情報を間違えないこと、読みやすいこと、工夫のあるデザイン。この3点に気をつけ、スケジュール通りに発行できるようにみんなで協力しています」

👍 求人広告の職場を見学。
続いて実際に求人広告をついているオフィスを向かった。営業の坂上さんが、大手スーパーや家電量販店、運送会社などの名前をあげ「聞いたことありますか？」と尋ねる。「知っているー」「行ったことある！」と元気な声が返ってくる。自分たちの知っている企業の求人広告がつけられていると聞き、子どもたちの目が輝く。部屋の中ではたくさんのデザイナーがパソコンに向かっている。モニターをのぞくと、先ほどつくった原稿が映し出されている。自分のつくった求人広告を見つけ、子どもたちは大興奮だ。



「情報を見ながら、読みやすいこと、工夫のあるデザイン。この3点に気をつけ、スケジュール通りに発行できるようにみんなで協力しています」

👍 さあ、求人広告づくりに挑戦！
引き続き岩永さんの指導のもと、子どもたちは「ジョブアイテム」の求人広告づくりにチャレンジする。パン屋、レストラン、保育士、警備員の中から1つ選び、広告のもととなる原稿を手描きする。配布された写真・イラストの1一覧表とコピー案の資料を見ながら、「写真の大きさは？」「イラストはどこに入れよう？」「キャッチコピーは何文字？」と質問が飛び交う。悩みつつも完成させると、子どもたちの顔に達成感が広がった。



👍 できた！世界に一つの求人広告。
アイテムでの探検を終えた子どもたちは、チームごとに学んだことや感想を発表した。「仕事を探している人と、働く人を求めている会社をつなげることがわかった」「求人広告づくりは難しかったけど楽しかった」など一日の成果を振り返る。最後にオリジナルの求人広告が一人ひとりに手渡される。自分のイメージがデザインされた原稿をじっくり見つめる子どもたち。求人広告をつくる喜びもすっかりと胸に刻んだ。



「情報を見ながら、読みやすいこと、工夫のあるデザイン。この3点に気をつけ、スケジュール通りに発行できるようにみんなで協力しています」

感想コーナー

- たくさんの方が仕事をしている場面や、色々説明していることをメモとれたので、自由研究や何かに使いたいと思います。
- 初めて広告を作って、広告を作るのはとても楽しいと思いました。
- 求人広告の作り方は知らなかったけど、初めて知って良かったです。
- 名刺交換にも、いろいろなルールがあって、営業さんとかは大変だと思いました。
- 求人広告の最終チェックが、とても大変そうでした。
- 広告を作るのはとても難しいし、時間がかかるとわかりました。



●「アイテムしごと探検隊」ご協力をお願い
訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会を一緒に提供していただけませんか？ お問い合わせはアイテムまで ☎0120-938-989